



葛飾区第四期介護事業計画に対するパブリックコメントが、目に見える形で成果を見ました。

百十九件の意見の大半は、介護サービスの規制緩和、負担の軽減、介護報酬の改善、介護職の育成などについて、区の助成か、国は法令で定められていることだから的一点張りで、助成も国への具申も受け入れませんで

百十九件の意見の大半は、介護サービスの規制緩和、負担の軽減、介護報酬の改善、介護職の育成などにつ

いて、区の助成か、国は法令で定められていことの具申を要望するものでした。しかし、区

は法令で定められていことの具申を要望するものでした。しかし、区

審議会が区内の意見を受け止めた



パブリックコメントが審議会を動かす

した。

ところが、三月二日、介護保険事業審議会が葛飾区長に提出した介護事業計画の答申書に「(区は)パブリックコメントに寄せられた意見を考慮して、介護保険制度や介護報酬など国の制度や仕組みに関することであつても、必要に応じ、機会

を捉えて国に要望すること」の文がありました。

これは、明らかに審議会が区内の意見を受け止めたものでした。この答申は、介護事業計画の中の「介護報酬など国の制度、地域包括支援センターの充実の要

能を強化

た以上、これまでの硬直した姿勢を続けることはできなくなるでしょう。

パブリックコメントに多かった「支援センターの増設」には遠いですが、一步前進の修正です。区がパブリックコメントの中から取り入れるとした二件

(高齢者実態調査と介護保険財務の疑問点)についての案文修正もされました。パブリックコメントが、葛飾区の介護行政に変化の流れを作りかけていくと言えそうです。

私たちも、これからも区との懇談などを通じて、確かな流れにしていきたいと思いま

す。関谷一朗

介護職場の人材確保に望もありましたが、これについても区は「地域包括支援センターにおける支援の充実を図るため、出張相談窓口の増設や職員増など機

能強化していきます」と答申書とほぼ同文

の追記しました。

パブリックコメントに多かった「支援センターやの増設」には遠いですが、一步前進の修

正です。区がパブリックコメントの中から取り入れるとした二件

(高齢者実態調査と介護保険財務の疑問点)についての案文修正もされました。パブリック

コメントが、葛飾区の介護行政に変化の流れを作りかけていくと言えそうです。

私たちも、これからも区との懇談などを通じて、確かな流れにしていきたいと思いま

す。関谷一朗

国への要望に期待

議会が区内の意見を受け止めた

ことを捉えて国に要望すること

一文が入りました。

これは、明らかに審

議会が区内の意見を受け止めたものでした。

この答申は、介護事業計画の中

に「介護保険制度や介

護報酬など国の制度、

地域包括支援

センターの機

能を強化

た以上、これまでの硬直した姿勢を続けることはできなくなるでし

よ。

この答申は、地域包括支

援センターの充実の要

能を強化

た以上、これまでの硬

直した姿勢を続けるこ

とはできなくなるでし

よ。